

公表 事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名 ごえん黒崎

公表日 2024年11月11日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・活動や利用児の状況に応じて利用するスペースを分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		・児童の入れ替え時間にごちゃごちゃになる。 ・子どもの人数に対して職員が足りていないことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・幼児用トイレに段があるが大人と一緒に入れるスペースがあります。 ・視覚的構造化、手順書を必要場所に取り入れています。	・玩具の環境をもっと整えたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の掃除、アルコール消毒には務めています。	・掃除が行き届かない時がある。 ・整理整頓に努める必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・個室としても使用できるトレーニングルームを用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・月 1 回ミーティングを行っています。 ・業務上で気になる点が出てきた際は、職員間で話し合いを行っています。	・業務改善のPDCAをしているのかわからない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・年 1 回事業所評価を行っています。 ・意見箱を設置しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・月 1 回ミーティングを行っています。 ・業務上で気になる点が出てきた際は、職員間で話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・必要性を感じた際に、体制を整えています。 ・外部受け入れは業務中誰でも入れるようにしています。	・現在のところ、第三者による外部評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・月 1 回事業所内での研修は行っています。外部研修の広報も行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・スタッフ間で対象児童に合わせた支援プログラムを話し合っています。	・未公表なため、今後公表するための取り組みを進めたいと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・月 1 回のモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・目的、目標に沿った個々の支援プログラムが随時確認できるようにしています。	・スタッフによって差があると感じている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・保護者の方にはその場で見学・相談が出来る状況をつくっています。 ・職員間では支援記録や専門職による計画書での評価、終礼などで常に状況の確認をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・定期的にあセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・当日の担当者に対して申し送りをするなどして共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・子どもの特性や状況に応じて、有益となるようなプログラムを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・基本的には個別プログラムです。場合によっては小集団となることもあります。	

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・朝礼時に子どもの状況や変化点を職員全員が把握できるように話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・当日の支援内容や状況の振り返り、ヒヤリハットや情報の共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・月1回、本人や保護者と情報共有やモニタリングを行うようになっています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児発管が参加。必要によっては他職員が同行することもあります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・必要時には段階を踏んで他関係機関と連携が取れる状況を作っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・必要時にはこども園や幼稚園などへ訪問し、支援内容などの情報共有や相互理解を図っています。専門職に同行してもらうこともあります。	インクルージョン推進まで考えて支援を行えるよう意識していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・必要時には相談支援事業所を通して連絡をすることもあります。 ・協力できる体制は整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		・療育センターからの療育指導を受けさせてもらっています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8		・保育所などとの交流は行っていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・保護者見学時に子どもの状況や課題について話し合っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・適時、その場での相談や電話やLINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明し、質問等あればその場で答えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・契約時に本人や保護者のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考案しています。また、新たなニーズがあれば、都度合う支援を考案しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・支援内容の説明を行い、同意していただいたうえで署名してもらっています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・必要に応じて面談だけでなく、電話やLINE等でも相談を受け付けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	・同時刻に重なる保護者同士には交流できるようにしています。 ・同じ悩みを持つ保護者同士で話す機会を作ることもあります。	・父母の会などはしていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	・主にLINEを使用し、月の利用予定、空き状況等をお伝えしています。	・HP、SNS、通信は行っていません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報記載されている書類等は鍵付きの書庫に保管しています。 ・廃棄書類等はゴミ箱ではなくシュレッターを使用して廃棄しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・商店街の祭りや屋外の散布などを通して地域住民と交流を行うなどはしています。	・事業所行事や地域住民を招待するなどはしていません。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・各マニュアルは策定しており、定期的に見直しや研修も行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		・食事の提供は行っていません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・安全計画に基づいて研修や訓練を行っています。	・安全計画を職員間で周知できるよう閲覧できるようにしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	・周知できるよう閲覧できるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8		・終礼時に聞き取りを行っています。 ・対策検討する機会を設けています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		身体拘束当適正委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・事業所のミーティングで検討し、必要時には部門ミーティング、適正委員会にて検討してもらうようにしています。		